

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成24年度第2回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成24年8月27日(月) 14:00～16:00

会 場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

平成24年度 第2回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成24年度 第2回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成24年8月27日(月) 14:00~16:00

会場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

3 出席委員

藤田 賢一郎、柿内 よし子、菊池 裕子、今泉 恵子、上地 和久

4 議事

(1) 平成24年度第1四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

・工事契約件数及び契約金額について

件数は今期295件、昨年同期292件とほぼ変わらないが、金額が約40億円程増加しているのは、1件当たりの金額が増加しているためである。

・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(問) 落札業者が契約を締結しなかったため指名停止になっているが、この様なことは多いのか。

(答) 年間数件程度である。ただし悪質なものではなく、業者が再調査を行った結果、落札金額で受注するのは難しいと判明したためなどで、業者の諸事情が関係している。そのため、今年度より資格取消(24ヶ月)から指名停止(12ヶ月~24ヶ月)に処分を変更したところである。

(2) 平成24年度第1四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成24年度第1四半期に契約をした工事の中から、柿内委員が10件(契約室契約分8件、建設局東部整備事務所契約分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 本体工事を落札した共同企業体の構成員が、内部撤去工事として別案件も受注しているのはどうしてか。

(答) 共同企業体の構成は、ゼネコン(親)+地元企業(構成員)の2社JVである。通常手持ち工事がある場合は、入札に参加できないこととしているが、本体工事は大型工事としてしたので、参加制限を緩和した。

2本の工事とも最低制限価格を下回る入札者ができるほどの競争の結果、同一業者が落札したもので、問題はないものと考えている。

(問) 一般競争入札の土木工事であるが、入札参加業者が 53 社と多いと思われるがどうしてか。

(答) 年度当初の入札で、手持ち工事を持っている業者も少なかったこと、また、例年になく土木工事が減っているため、多くの業者が参加したと思われる。

(問) 事前公表している予定価格より高い金額で入札している業者がいるのはなぜか。また、落札後、錯誤を理由に契約辞退できるのか

(答) 通常では考えられない。辞退届けを提出するところを誤って入札ボタンを押したのではないかとと思われる(電子入札のため)。

なお、予定価格と最低制限価格の間で落札した業者には、その落札金額で工事を施工してもらうのが大原則である。ただし、明らかに錯誤と思われるものについては、話を聞いて対応することがある。

(問) 耐震工事の基準は全国共通なのか。

(答) 基準は同じと思われる。ただ、どのレベルに合わせるかで違いがあるのではないかと。北九州市では現在、耐震化工事を早急に進めている。

(問) くじ引きで落札業者が決定しているが、年間何件くらいあるのか。

(答) 各年度件数に違いはあるが、10件から30件程度である。

(問) 随意契約により、西部ガスが落札率 100%で受注しているがなぜか。

(答) 本件は、都市ガスの工事であり西部ガスにしかできない工事である。都市ガス工事は、経済産業省の認可により単価が決まっている。そのため、予定価格の積算を行う際西部ガスから見積書を徴収するが、その見積価格を設定金額とするので見積価格と同額が予定価格となる。

1 次回の工事の抽出は、今泉委員が担当することとなった。

2 次回の委員会は、平成 24 年 11 月 22 日(木)に開催することとなった。